

博多港アイランドシティコンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	取組内容
博多港ふ頭株式会社	電動式トランスファークレーンの導入（全26基）
博多港ふ頭株式会社、福岡市	ゲート受付システム（HiTS）の導入
福岡市	博多港港湾脱炭素化推進計画の策定
福岡市	インバーター制御方式のガントリークレーンの導入（全6基）
福岡市	ヤード照明のLED化（全10基）

[ターミナル概要]

2003年に供用を開始したアイランドシティコンテナターミナルは、総面積48.5ha、水深14m・15mの岸壁（総延長890m）を備え、大型コンテナ船の接岸にも対応し、博多港全体のコンテナ取扱量の約6割を担っています。

また、荷役機器としてインバーター制御方式のガントリークレーン（全6基）、CO₂排出量を大幅に削減できる電動式トランスファークレーン（全26基）を導入するとともに、ヤード照明のLED化（全10基）やゲート受付システム（博多港物流ITシステム“HiTS”）を活用したトレーラー待機・渋滞の緩和など、環境負荷の低減と効率化を両立する取り組みを推進しています。

福岡市が策定した「博多港港湾脱炭素化推進計画」に基づくこれらの取り組みを通じ、アイランドシティコンテナターミナルは港湾の脱炭素化に積極的に貢献し、カーボンニュートラルポート（CNP）の実現に向けた先進的な役割を果たしています。

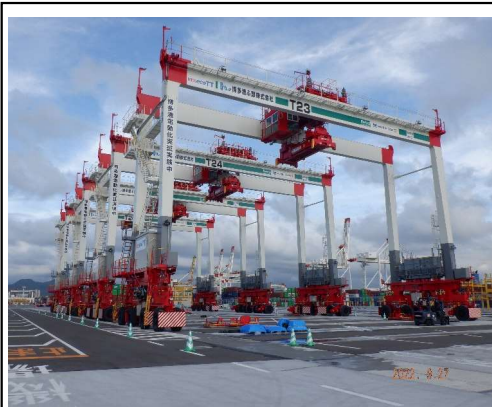


CNP Certification

認証レベル
Level 5+

(認証日 令和7年9月25日)

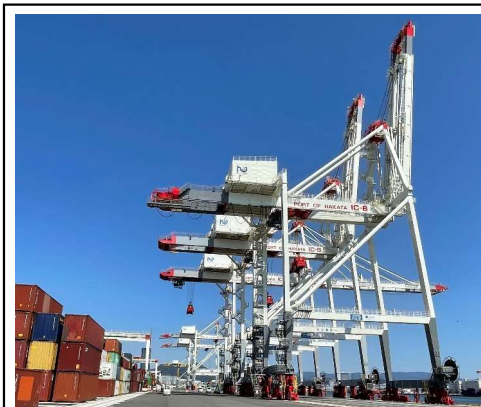
CO₂排出量原単位
8.00 kgs CO₂ / TEU



電動式トランスファークレーンの導入
（全26基）



ゲート受付システム導入による貨物
引き取り・引き渡しの効率化



インバーター制御方式のガントリークレーンの導入（全6基）



ヤード照明のLED化（全10基）